

# 株式会社ジェイコム北関東 2015年度放送番組審議会 議事録

2015年度の放送番組審議会は2016年3月8日(火)に開催された。

## <放送番組審議会委員>

ご出席

尾 堤	宏 様	小 松	政 毅 様
鈴 木	一 行 様	能 瀬	さ ち 子 様
丸 岡	淳 様	宮 崎	晃 一 様
横 田	等 様		

ご欠席

川 西	潤 一 様	笹 野	晋 様
三 輪	祐 子 様		(五十音順)

事業者側から現況報告及びJ:COMチャンネルの取り組みにつき報告があった。

## 【審議 質疑応答】(宮崎会長による進行)

### ■『デイリーニュース』について

(委員)夕方5時のデイリーニュースは生放送であり、ニュースソースの新鮮さと地域に限定した話題を知ることができる。「どローカル」に徹した内容は良く、以前より洗練されている。

災害時のニュースは鮮度が重要であり、災害発生時と夕方の生中継時には状況が異なるので、災害時の映像を視聴者から入手して放送してはどうか。また、レポーターがスタジオ出演してコメントするのも良いと思う。夕方5時の放送はまだ仕事の方も多いため、6時からの放送を希望する。週末にはエリアニュースとして放送しており、さらにHPでは放送内容が告知されており後日、情報を得たい時の参考になる。

災害時の生中継でレポーターのコメントの内容が判らないことがある。以前は曜日ごとに取材エリアが分かっていたが、現在は限定されていないので取材の範囲が広く、取材の地域が判りづらい。番組の内容が硬く感じられ、地上放送局と比べるとCMを含め魅力が少ないので改善してほしい。スタジオのセットが暗い感じがするので改善を望む。

今後、番組のスタイルを変えていく計画はあるのか。

(事業者)今のスタイルが最終形ではなく今後も改善が必要と考えている。その中、社員による地域アナウンサーを育てている途中であり、是非、皆様のお力をお借りしたい。

ご要望にあった「取材レポーターのスタジオ出演」に関しては現在検討しており、映像には無い裏話などを交えた内容としたい。

(委員)視聴者が感じた意見や視聴者が参加できる番組の計画はあるのか。

(事業者)視聴者からの情報を吸い上げる仕組みが大事で、写真一枚でも提供していただける環境を権利関係の処理を含め考えていく。

#### ■地域ドキュメンタリー『言葉をひろう』について

(委員)デイリーニュースの中で番組の紹介をしてみてもどうか。番組コンクールで賞が獲れる良い内容なので、宣伝して多くの人に観てもらってはどうか。

番組タイトルと中身との関連がよく判らなかつた。番組の時間が長く、観る側として5～10分位が適当ではないか。今回取り上げたお店は地元でも新聞でも取り上げられている有名店。映像やBGMによりお店が暗いイメージを受けてしまう。お店を利用するお客さまの言葉や番組の最後は明るいイメージで終了すると良い。

今回のようなドキュメンタリー番組は初めての試みか？

(事業者)デイリーニュースの中でミニ特集という形で放送することはあるが番組としては初めてである。事業者側でも番組尺が長いと感じており、今後14分尺として放送する予定。

#### ■『ちよっ蔵お出かけ！まちかど情報局』について

(委員)本番組は9年目に入り地域の方の認知度が高く、良い意味でケーブルテレビのバラエティ色が出ていて幅広い年齢層に親しまれている。「地元の事をよく知ろうよ」という番組であり地域住民も番組を応援し、育てていかないといけないと感じている。地上波局はレギュラーネタの取材が多いのでJ:COMにはローカルに徹した取材を望む。コミチャンには短命な番組があるが本当は長続きしないといけないと考える。J:COMになつていろいろな地域の「どローカル」を観ることができるのが良い。

最近の街歩き番組はネタが重なることも多いので、地域密着のJ:COMにネタを深掘していただくことを期待している。

#### ■まとめ

(事業者)番組は街に愛されることが大事で地元の出身者をキャスティングすることも必要と捉えている。地元の皆さんにより愛される番組にしていくため少し長い目で見守っていただきたい。各委員からの貴重なご意見、ご要望を今後の番組作りに活かさせていただく。

以上